

きらきら7号機若林区高野宅に年内建設めざす！

きらきら発電は太陽光発電所7号機を、仙台市若林区なないろの里の高野様宅に設置することを9月の理事会で確認しました。建設経費132万円、仕様はシャープ太陽光発電4.144kWシステム、年間売電57,821円の予想（1kWhあたりの売電単価/19円税込）です。現在資源エネルギー庁に申請中で、早ければ11月にも着工可能となります。

現在FIT(買取価格固定制度)を利用して私たちきらきら発電が建設できるのは、戸建ての個人住宅用FITだけになっています。そこで、戸建てに住む方々の了解を得て、屋根を借りて太陽光発電所を建設する「長野県上田方式」を採用することにしました。

来年度も戸建て屋根借り方式で太陽光発電所設置を目指します。戸建て住宅に住んでいる方で、屋根を貸してもよいと考える方は、事務局にご一報ください。また会員の方から周りの方に「屋根を貸してほしい」と訴えていただきたいと考えます。



大崎住民訴訟250万円緊急募金にご協力を



9月22日開催の大崎住民訴訟第13回口頭弁論期日で、仙台地方裁判所が原告側提案の「精密度の高い排ガス測定法」の実施を認めました。その検査法の実現のための費用250万円を募金で集めることを大崎原告団が決めたので、支援する会も側面援助することを9月30日の会議で確認しました。1口千円、何口でも結構ですという訴えで、11月15日集約日となっています。

きらきら発電は「大崎住民訴訟を支援する会」に入会しています。10月8日の役員会で、10万円募金することを確認するとともに、会員の協力を呼びかけることとしました。

10月15日時点で200万円突破、残りは50万円弱

上記の訴えにさっそくお応え下さって「大崎住民訴訟を支援する会」口座に振り込んでくださった方が、10月15日時点で9団体73名1,048,900円。原告団集約の952,320円と合わせ、200万円突破となりました。残り50万円弱です。しかし、ここからが肝心。1口・2口と協力してくださる方が広がらない限り、目標は達成できません。ぜひご支援をお願いします。同時に周りの方々にお知らせいただき、協力の輪を広げていただきたいと考えます。なにとぞ、よろしくお願いいたします。

次回裁判は12月6日(月)午前11時

放射能汚染廃の焼却中止を求める大崎住民訴訟の次回口頭弁論期日(裁判)は12月6日(月)午前11時です。精密検査の結果が出ています。内部被爆についても議論されます。多くの方が傍聴されますよう、こちらをお願いします。

きらきら発電市民共同発電所ニュース

2021年11月号 第83号

〒981-3215 仙台市泉区北中山3丁目17-12

電話・FAX 022(379)3777

HP kirakirahatuden.com/

Eメール hirohata3777@outlook.io



環境に関するイベント

2025年ビジョン ゆたかに:自然と調和した循環型の暮らしをめざす

映画「おだやかな革命」オンライン上映+記念トークライブ 協力:きらきら発電・市民共同発電所



おだやかな革命

様々な背景を持つ人々が、それぞれの地域でエネルギー自治を目指して立ち上がった。そこから生まれる、お金やモノを超えた、生きがいと喜びに満ちた暮らしの風景を巡る物語。

オンライン上映

公開期間:11月19日(金)9:00~48時間

定員:なし

参加費:おひとり 500円 **×切:11/15(月)**

*映画は公開期間内であれば、インターネットを通していつでも好きな時に視聴いただけます。

*お申込みいただいた方へ視聴用 URL を送付します。URL の無断転送は固くお断りいたします。

*ご家族と一緒にご覧になる際など、必ず人数分お申込みください。

上映時間:100分

宮城の再エネ普及はどう進んでいるのか

日時:11月20日(土) 14:00~15:30

定員:280名(zoomによるオンライントークライブ)

参加費:無料 **×切:11/15(月)**

スピーカー:渡辺智史さん(おだやかな革命・監督)

長谷川公一さん(MELON 理事長)/水戸部秀利さん

(きらきら発電・市民共同発電所)/浦井彰さん(みやぎ

地域・市民電力連絡会)/Fridays For Future Sendai

宮城の再エネ普及の現状を見つめ、理想的な進路を進んでいるのかを考えるトークライブです。

「環境に優しいバイオマス発電」は本当? いいバイオマス、悪いバイオマスを知ろう

① 環境に優しいバイオマス発電

G-Bio石巻須江発電所で使われる発電事業は、植物油を燃料エネルギーを用いたこの発電事業は、再生可能エネルギーによる火力発電と比べて、CO2排出量が約半分です。

なお、わかたけバイオマス発電事業は、再生可能エネルギーの割合を高めています。

G-Bio石巻須江発電所は、2050年の再生可能エネルギーの目標達成に貢献しています。

これ、本当?

続々と参入が始まっているバイオマス発電は、本当に脱炭素社会に役立つものでしょうか。バイオマス発電とは何か?や、建設が進められている G-bio 石巻須江バイオマス火力発電所への懸念など、基礎から分かりやすく解説します。

日時:11月27日(土) 10:00~12:00 定員:280名

参加費:なし **×切:11/22(月)**

講師:満田夏花氏(国際環境 NGO FoE Japan 理事)

*参加には zoom が必要です。参加用 URL の無断転送は固くお断りいたします。

11月実施のあいコープ祭りの企画を一部紹介します。ぜひご参加を!

あいコープ公式サイトから
おまつり特設ページへ

必要事項を入力し、
参加したいイベントに申し込み

参加用 URL がメールで
届くので、クリックして開く

あいコープみやぎ公式サイト
www.mamma.coop

必ず専用ページからお申込を!



Q:オンラインイベントに参加するには、どんな準備が必要ですか?



A:オンラインミーティングツール「Zoom」が使える PC やスマートフォンをご用意ください。Zoom は無料で使う事ができます。詳しくは右のサイトをご覧ください。



https://sites.google.com/view/icoopmiyagirijikai/ホーム